

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 25日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市水口町泉1259番地
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
株式会社積水化成品滋賀
代表取締役社長 真鍋 善幸
第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項] の規定に基づき、 [事業者行動計画を 策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社積水化成品滋賀 代表取締役社長 真鍋 善幸
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市水口町泉1259番地

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社積水化成品滋賀					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町泉1259番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	3	5	※ 産業分類・細分類名称を記載 プラスチック製造業
事業の概要	発泡プラスチック、その他プラスチック製品およびこれらに関連する製品の製造・加工・売買・輸入ならびに輸出					
従業員の数	105	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	1700 台
	コンプレッサ	12 台	空気調和設備	75 台	その他	産業用モーター 520 台 エアコン 110台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	R1	年度	報告対象年度	R5	年度
	終了年度	R5	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

我々は、積水化成工業株式会社のCSRビジョンに関する社会貢献指針に基づき、生産活動における環境影響を少なくすることが重要課題であることを認識し、以下の活動を行う。

- 1、法規定、協定類を遵守する。
- 2、環境汚染物質の発生を抑制する。
- 3、産業廃棄物の発生量を抑え、省資源を推進する。
- 4、エネルギーを削減する。
- 5、地域社会の環境保全に貢献する。

上記活動を推進するために、環境目的及び目標を設定し定期的に評価、見直しを行い、継続的な改善と汚染の予防に努める。

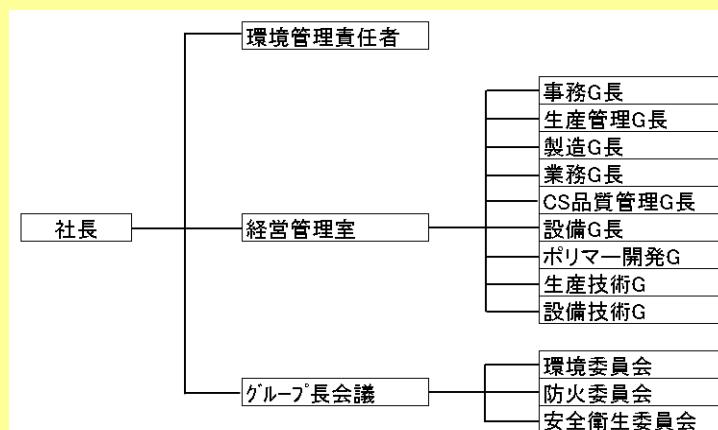
以上の方針を、場内協力会社を含む事業場内の全従業員に周知し遵守させるとともに、要求があれば一般の人が入手可能とする。

2 取組の推進体制

○責任者：環境担当役員 代表取締役社長

○推進体制(組織図)

議長：経営管理室 室長
環境方針の立案・策定
現状の確認
各グループへ検討課題の指示

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネルギー設備の導入については昭和52年度から計画的に積極的な取り組みを行っている。

- 製造事務所蛍光灯ダミー管の導入、使用していない区画の消灯
- 高効率空気圧縮機への更新及び台数制御による電力費削減
- プラントエア漏れ修理により低減
- 工業用水の冷却設備について、運転時間の調整を行うことにより電力量の低減
- 製品の乾燥時間短縮により電力量の低減
- 高圧変圧機の更新により電力量の低減
- 事務所へのLED照明の導入
- 外気条件によ空調設備の運転台数の制御
- 事務用機器の不要時の電源切断及び省電力モードの利用により電力量の低減
- 高効率冷凍機の導入

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	高効率冷凍機に更新(製品製造用)	R1年度～R2年度	更新済
2	設備導入	高効率照明ランプ、灯具へ随時更新	時期未定	LED照明随時交換済 他エリア更新予定
3	設備導入	高効率冷凍機に更新(製品保冷倉庫用)	R2年度～R5年度	高効率冷凍機に一部更新済、令和5年度更新予定
4	プロセス改善	個別省エネ改善テーマの推進	R2年度～R5年度	
5	設備導入	高効率空気圧縮機に更新(計装設備用)	R3年度～R4年度	R4年度更新済

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	HFCs	冷凍機更新【(1)取組の内容】により既設冷凍設備の老朽化による冷媒大気漏れリスク低減	R1年度～R5年度	製品製造用冷凍機設備 更新済 製品保冷倉庫用冷凍機設備一部済 引き続き更新予定
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
滋賀省エネ推進委員会では、電力原単位、及び蒸気原単位を2018年度対比3%削減を目標に活動を進めてきました。 『エネルギーの使用量 原単位 = $\frac{\text{生産量}}{\text{生産量}}$ 』 なお、原単位の考え方はつぎのとおりです。 温室効果ガス排出量は製品の生産量に大きく影響を受けるため、生産量を原単位の指標(分母)として設定しました。なお、実績を目標と適切に対比させるため、計画期間中の各年度の温室効果ガス排出量の算定に当っては、電気のコ ₂ 排出係数(電力原単位)は基準年度の係数に固定して算定します。 ※ 製品原単位格差は正のため、ウェイト換算実施した生産量を使用する。		【電力削減】 ①上記省エネ設備の導入 ②製品の生産工程の時間短縮 ③生産処方の変更による冷凍設備の負担軽減等により 2018年度対比原単位 98% 【蒸気削減】 ①放熱ロス削減 ②蒸気漏れ箇所の早期処置等により 2018年度対比原単位 101% 上記の通りとなりました。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(R1)年度	(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	6,840	7,080	6,455	7,100	6,116	2,285
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	13,167	14,160	10,862	12,444	9,602	4,957
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	13,167	14,160	10,862	12,444	9,602	4,957
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂		0	0	0	0	0
CH ₄	t-CO ₂		0	0	0	0	0
N ₂ O	t-CO ₂		0	0	0	0	0
HFCs	t-CO ₂		0	0	0	0	0
PFCs	t-CO ₂		0	0	0	0	0
SF ₆	t-CO ₂		0	0	0	0	0
NF ₃	t-CO ₂		0	0	0	0	0
エネルギー等原単位の推移		62.470	61.460	62.490	60.170	60.550	24.313

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
○滋賀事業所では省資源化に貢献する発泡倍率100倍のポリスチレン発泡体の開発・提供を行っております。発泡倍率100倍のポリスチレン発泡体は当社従来品(90倍品)と比較して10%の計量化を実現しており、原材料の削減による省資源化、軽量化による運搬時の省エネルギー効果を通じて、CO ₂ ネットゼロ社会づくりに貢献します。	【令和4年度】 ・大型の発泡ブロックを生産できる事から、水上ソーラーの浮力材として販売済。 ・R4年10月以降当品種の生産を他工場に移行。
	CO ₂ 削減貢献量
	0.5 t-CO ₂

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
発泡倍率100倍のポリスチレン発泡体原料の安定供給及び増産に対応出来る体制作り及び設備維持に努める

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
出荷量が少量の為、当工場(大規模設備)で生産を行うと長期在庫となり冷蔵保冷库での保管で電力使用量増加となる為、R4年10月より他工場(小規模設備)に生産を移行済。 当品種に関して、今後の増産や安定供給に向け当工場では生産設備の維持管理に努める。
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠
製造原単位▲10%削減

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R1)年度	(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	12,860	11,792	10,492	12,238	9,796	4,957
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	12,860	11,792	10,492	12,238	9,796	4,957
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.418	0.334	0.318	0.351	0.311	0.360
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(R1)年度	(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度
保有車輛の数	台	3	3	3	3	3	3
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	3	3	3	3	3	3
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1				
2				
3				
4				
5				